

郷土に育ち 未来を創る 和知の子ども

学校だより No.2

平成27年5月14日(木)

Tel. 0771-84-9061

Fax.0771-84-1780

☆ ホームページでは、学校だよりをカラーでご覧いただけます ☆



朝のあいさつ運動に努力



鉄棒の逆上がり・前回りに努力



朝の歌で、声だしに努力

努力を続けることの大切さ

校庭の桜の花が葉桜に変化し、芝桜が咲き誇った後は、京丹波町の花「つつじ」が見事な色合いを見せています。和知小学校が自然の宝庫であることを感じる毎日です。4月に入学した1年生15名も元気に学校に登校しています。5月1日には、わち山野草の森を会場に、6年生が中心になり1年生歓迎遠足を大成功させました。

ところで、本校の学校教育目標は「元気が一番、輝け！和知の子」です。元気な挨拶、元気な発表、元気も学力の一つと考えています。ふと、テニス界で著名な松岡修造さんの元気の秘訣は何かと思い、日めくりカレンダーを購入しました。それぞれの日めくりには熱い言葉がたくさん書かれており、心を元気にする応援メッセージのように思えました。特に気に入ったのが、

次に叩く一回で、その壁は破れるかもしれない。

でした。これまで苦勞して頑張った努力は間違いなく自分の力になっていました。あきらめず休まずに努力していけば、あと1回で必ずものになるという言葉でしょうか。だから、元気の源となるのは、努力の継続(続けるContinue)であると思いました。そういえば、私が担任の時に学級の児童によく話した『努力の壺』の話思い出しました。和知小の児童にも紹介しました。

(前略)人が何か始めようとか、今までできなかったことをやろうと思った時、神様から努力のつぼをもらいます。そのつぼにはいろんな大きさがあり、人によって、時には大きいのやら小さいのやらいろいろあります。そしてそのつぼは、その人の目には見えないです。でもその人がつぼの中に一生懸命「努力」を入れていくと、それが少しずつたまって、いつか「努力」が溢れる時、つぼの大きさが分かるということです。だから休まずにつぼの中に努力を入れていけば、いつか必ずできる時がくるのです。(後略) 出典：1997年12月 朝日作文コンクール「子どもを変えた親の一言」作文25選明治図書 1年角野愛さんの作文の一部引用し漢字に変換しています。)



努力の壺

努力を続ける難しさは、一つ目の理由として、壺の中を見ることできないことにあります。何かをするとき、頑張ってもどうせ無理だとあきらめてしまったり、途中で投げ出したりしてしまうからです。成果が見えないといやになるのが人間です。二つ目の理由として、壺の大きさが人によって違うことです。A君は、漢字練習で1回ですぐに覚えられるのに、B君は100回書かないと覚えられない。他人と同じだけ練習しても同じ成果がえられるとは限らないのです。これらの難しさがあっても、目標を達成するための努力を惜しまないことが必要です。この一年間、目標を明確にし自分に厳しく努力を続けてほしいです。

さて、8日・9日には6年生修学旅行があり奈良・伊勢方面へ行ってきました。6月には5年生が若狭湾青少年自然の家で、他の学年も教科等の内容に応じた校外学習を実施します。大きな行事を目標にして一人一人が努力と学級全体での努力をし続け、体験的な学習を実施していきますので、保護者・地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。

校長 野口 博之

目次

P1: 努力を続けることの大切さ

P2～P3: 継続は力なり

P4: 行事予定 修学旅行

5月中旬～6月末の主な行事予定

5月中旬

- 19日（火）新体カテスト
伝統文化クラブ
- 21日（木）眼科健診
- 22日（金）内科健診
- 23日（土）和知フィールドワーク
8:30旧和知第二小集合
（土曜活用 教育課程外）
- 26日（火）耳鼻科健診 検尿二次
- 28日（木）PTA本部役員会
- 29日（金）自由参観日（1, 2校時）

6月

- 1日（月）登校指導 プール清掃(学校)
- 4日（木）第2回PTA合同委員会

- 9日（火）伝統文化クラブ
- 10日（水）～12日（金）
若狭自然体験学習（5年生）
- 15日（月）登校指導
- 17日（水）短縮4校時*研究会のため
- 18日（木）心臓二次検診
- 19日（金）プール開き
PTA交流レクリエーション*夜
- 23日（火）伝統文化クラブ
- 24日（水）短縮4校時*研究会のため
- 27日（土）人権参観日 *土曜活用
PTA救命救助法講習会
受け渡し訓練

楽しかった6年生修学旅行。思い出がたくさんできました。



▲東大寺大仏殿。大仏の大きさに圧倒されました。



▲鹿とふれあう6年生。野生なのに人に慣れていました。



▲みんなで食べる食事思い出の一つ。



▲二日目最後は志摩スペイン村。思う存分楽しみました。